国道19号 金山新橋南交差点~若宮北交差点における 自転車専用通行帯の検証

- 1. 整備の背景
- 2. 整備状況
- 3. 自転車専用通行帯整備に関する検証

1. 整備の背景



- 〇名古屋市内における自転車通行空間の整備計画に基づき、国道19号西大須交差点~若宮北交差点及び 金山新橋南交差点~西大須交差点において、自転車通行空間を令和4年度に整備。
- 〇なお、国道19号西大須交差点〜若宮北交差点については、自転車駐車場からあふれた駐車自転車により、歩道上の有効幅員が 狭くなっていた課題に対応するため、自転車等放置禁止区域への指定及び自転車駐車場の有料化を実施。

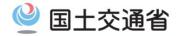


地図出典:@NTT空間情報

国管理国道 整備状況(令和5年12月末現在)

番号	路線	区間	延長(km)
整備済み			
0	国道19 号	日銀前~伊勢町通	0.8
0	国道19 号	若宮北~御園座前	0.6
€	国道19号	伊勢町通~小川	1.3
4	国道22号	幅下橋西~押切	0.8
9	国道19号	西大須~若宮北	0.6
6	国道19号	御園座前~日銀前	0.5
0	国道19号	金山新橋南~西大須	1.8
計画			
1	国道19号	熱田神宮南~金山新橋南	2.4
2	国道22号	日銀前~幅下橋西	1.1
3	国道22号	押切~上更	1.0
4	国道1号	熱田神宮南~中島駅南	4.3
5	国道41号	北警察署南~中切町5	2.2
6	国道302号	木前町~玉池町	1.6

2. 整備状況



- 〇国道19号金山新橋南交差点〜若宮北交差点の歩行者と自転車を分離し、歩道における安全性を向上させることを目的に、 西大須交差点〜若宮北交差点(R4年12月16日)、金山新橋南交差点〜西大須交差点(R5年3月28日)において1車線 を削減し自転車専用通行帯を整備。
- 〇また、国道19号西大須交差点〜若宮北交差点については、R5年4月1日に自転車等放置禁止区域へ指定し、有料の自転車 駐車場を整備。

◆位置図



◆断面図



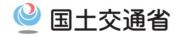


▶自転車等放置禁止区域への指定及び有料の自転車駐車場の整備 (R5年4月1日)





2. 整備状況



◆位置図



◆写真

<写真①>自転車専用通行帯の利用状況



<写真②>有料の自転車駐車場の整備



<写真③>単路部の自転車専用通行帯

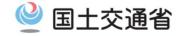


<写真④>バス停部の自転車専用通行帯

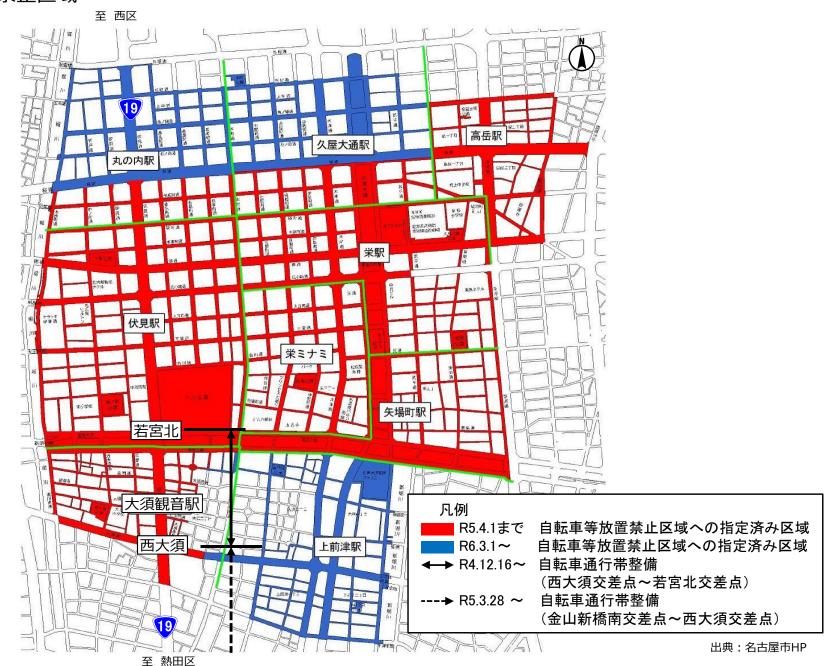


至 熱田神宮南交差点

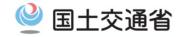
2. 整備状況



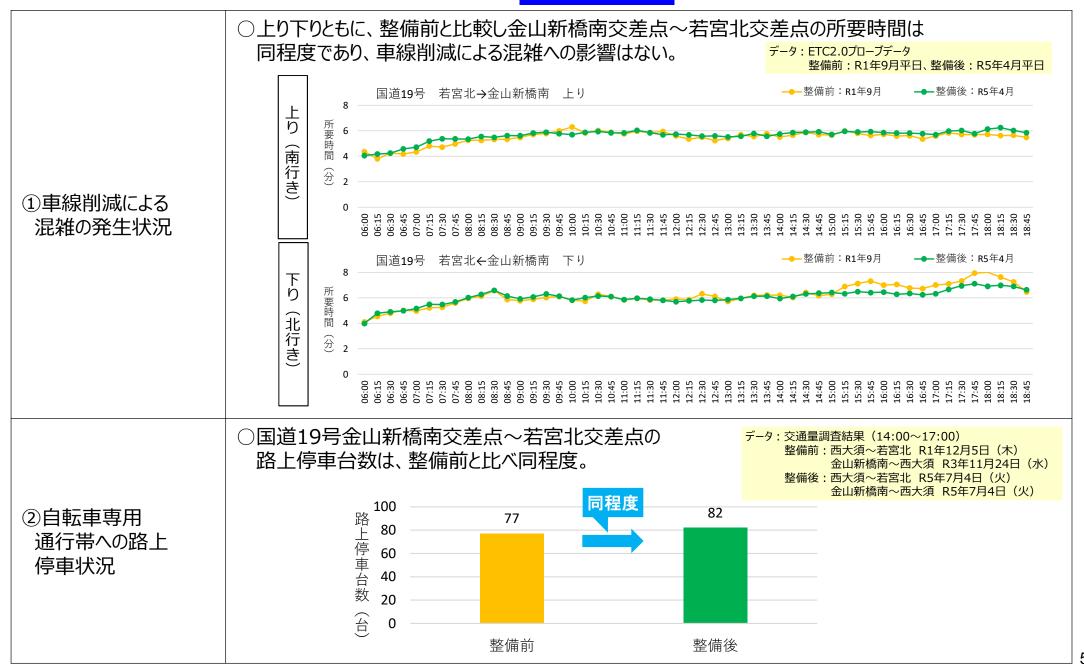
(参考) 自転車等放置禁止区域



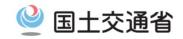
3. 自転車専用通行帯整備に関する検証



(1) 円滑性への影響(車線削減による影響) 大きな影響なし



3. 自転車専用通行帯整備に関する検証



(2) 歩道での安全性への検証(自転車通行空間の整備に関する検証)

一定の効果を確認

①自転車の車道 走行割合

- ○自転車通行空間の遵守率は西大須交差点~若宮北交差点では、 整備前と比べて西側で約7%から約71%、東側で約8%から約57%と向上。
- ○松原交差点~西大須交差点の整備後は、西側で約50%、東側で約57%であり 九丁堀交差点~古渡町交差点の整備後は、西側で約50%、東側で約58%であった。

■整備後

■整備前

100% 71% 遵守率 80% 57% 58% 57% 50% 50% 60% 40% 8% 7% 20% 0% 東側 東側 西側 西側 東側 西側 西大須~若宮北 松原~西大須 ※ 九丁堀~古渡町 ※

データ: 交通量調査結果(6:00~19:00)

【西大須~若宮北】整備前:R1年12月5日(木)

整備後:R5年7月4日(火)

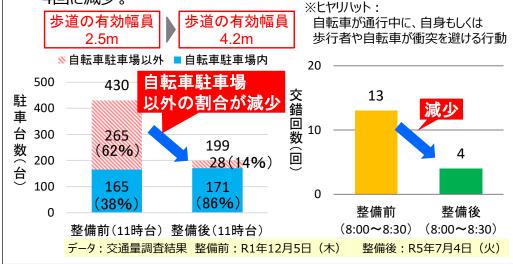
【松原~西大須、九丁堀~古渡町】 整備後: R5年7月4日(火)

※整備前のデータなし

■西大須交差点~若宮北交差点

- ○自転車等放置禁止区域への指定後、自転車駐車場以外の 駐車台数は、整備前と比べ265台から28台へ大きく減少し、 歩道の有効幅員も増加。
- ○自転車と歩行者のヒヤリハット回数※は整備前と比べて13から 4回に減少。

②歩道の安全性の 向上



- ■金山新橋南交差点~西大須交差点
- ○自転車専用通行帯の整備により、歩行者、 自転車の多くの方が「安全性が向上した」 もしくは「安全性がやや向上した」と回答。

安全性について

